

SPORTSCAPE

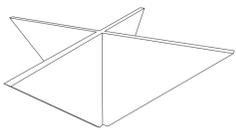
～都市型スポーツの再考～



課題概要

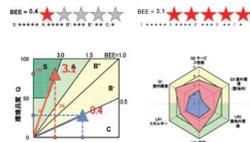
STEP1: SPORTSCAPE

スポーツ空間と商業空間の複合化というテーマのもと、1つの架構を連立させる単純な構成によって施設を設計した。見え隠れによって人に対して本能的に興味を抱かせる空間構成とし、またできるだけ仕切りを設けない曖昧な境界とし、通りがかりにスポーツに関わるような海外のストリート系スポーツに見られる人々のような関係が都市に内包できないか考えた。



STEP2: CASBEEを用いた環境評価

スポーツ空間と商業空間の複合施設では、スポーツ空間で発生した空気質の悪い空気をどのようにして商業空間に影響を少なくするなど環境面での考慮が非常に重要である。そこで、CASBEEを用いた環境性能評価を行い、どの分野に課題が多く存在しているかを明確にしながらそれらの改善案を考えた。最終的には右図のように環境的改善も数値化し表すことができた。

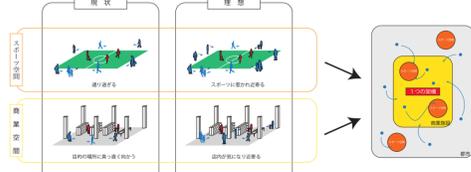


STEP3: 環境性能向上を目的としたディベロップ

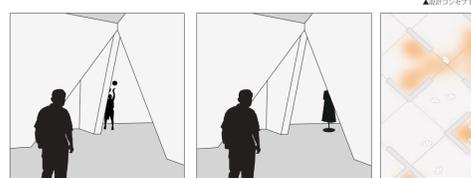
環境性能評価を上げることを主目的とするのではなく、環境的な配慮を絡めながら、本来のコンセプトを強める改善案とし、その過程でCASBEE評価も向上していくという方針のもとディベロップを行った。環境的課題は熱負荷が高いこと、空間の一体化による空気質の悪化、光環境の大ききくけて3つの課題がCASBEE評価をもとに挙げる事ができた。



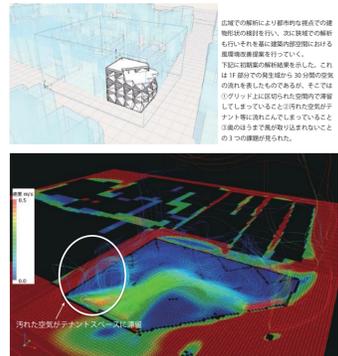
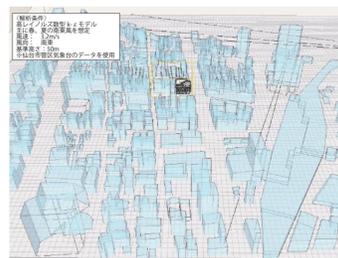
設計概要、課題



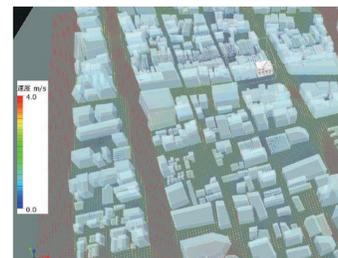
目的の利便性になっている現在の日本のスポーツ施設。広い室内を目的の場所に向けてゆかうメガフロアの商業施設。これら2つの異なる機能はともに人のために新たな体験を提供する「場」であることが求められ、それによって豊かな生活が実現する。スポーツ空間においては、食事をはじめとするスポーツを兼ねたり、買い物や来た客が近くのスポーツコートにふらふら立ち寄りスポーツをしたりスポーツに関わる機会を増やし、また、汗流した後の現代の時代における商業空間は、人が入るべき場。そこでの滞在を促すことが求められている。そのため、興味を抱かせる空間というものが、それら2つの異なる空間を1つの架構で構成された建築で生み出す。



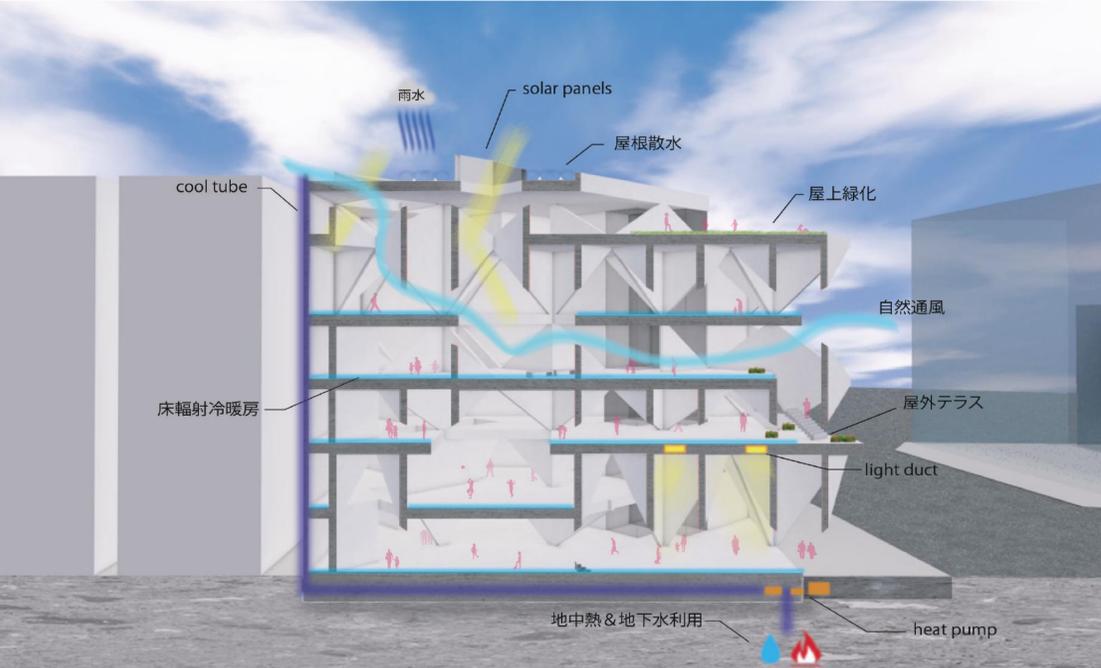
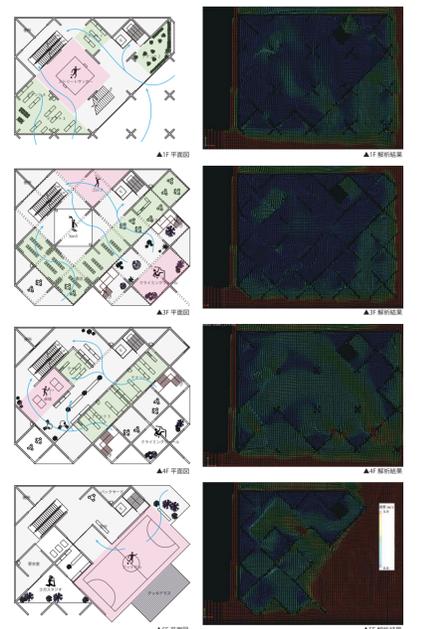
FlowDesignerによる環境解析



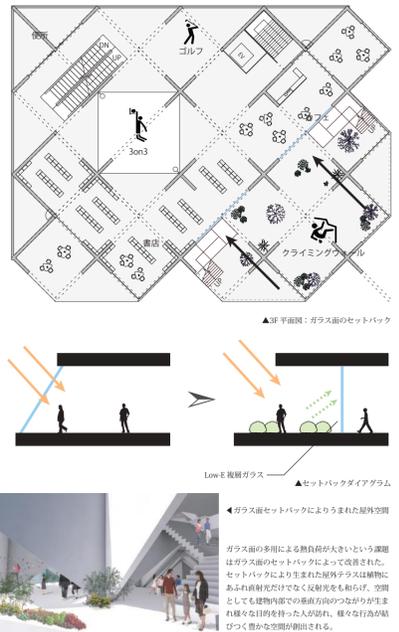
FlowDesignerによる環境広域解析



風の流を考える



温熱環境



光環境

